

院長のこだわり

「子どもの総合内科」を実践します ※1

小児科だけでなく内科の診療もします ※2

日曜診療を実践します

満足していただける接遇を心がけます

基本的に「敬語」で対応させていただきます ※3

白衣を着ません ※4

スタッフが気持ちよく働ける環境を作ります

喫煙者のご応募はご遠慮下さい ※5

※1 「子どもの総合内科」を実践します

小児科は「子どもの総合内科」と言い換えても良いかもしれません。

基本的に小児科医は、子どものどんな症状、病気にもまずは自分で対応することが多いです。それぞれの小児科医によって得意分野は異なりますが、一人の子どもを総合的に診ることができるのが小児科医です。

うなて医院でも、基本的には子どものどんな症状、病気にも対応します（怪我の場合は、可能であれば事前にご相談ください）。

重症度が高かったり専門的な治療が必要と判断した場合は、専門施設への紹介など適切に対処します。

患者さんの声に耳を傾け、生活背景も踏まえ分かり易く説明し、同意を得たうえで、それぞれの患者さんに適した診療を提供したいと考えています。

※2 小児科だけでなく内科の診療もします

内科の診療をしていると、つくづく感じるがあります。

1人の患者さんが、様々な医師の診察を受け、様々な処方を受けておられることが多いです。

1人の医師が、様々な問題をかかえた1人の患者さんを継続的に診ることができれば、どれだけ患者さんの負担が軽くなるだろうか、薬ももっと減らせるのではないだろうか、もっとその患者さんの状態を適切に把握できるのではないかと日々感じます。

「Kさんはそろそろ血液検査した方がいいな、それと来月は専門病院で年に1回の検査だ、この薬はかなり長期間飲んでるが本当に必要だろうか、ご家族の介護が大変そうだから内服回数を減らしたほうがいいかもしれない、むむむ！新しい症状だ、この場合は近くの〇〇科に一度相談させてもらおう・・・いや待てよ薬の副作用かもしれない！」といった感じです。うなて医院では、1人の患者さんが抱える数多くの問題を1つずつキッチリと整理して把握し、不必要な治療は止め、適切な時期に専門科と連携し、1人の患者さんを総合的にマネジメントします。

うなて医院では「0歳から100歳まで！（もちろん100歳以上の方もOKです）」年齢を問わず診療します。

※3 基本的に「敬語」で対応させていただきます

うなて医院では、「基本的に敬語」で対応させていただきます。

ただし以下のような場合、敬語を使用しないこともありますのでご了承下さい。

「診察や看護で（受付を除く）、20歳未満の方、学生の方、比較的若年で長期通院中の方、などに対応する場合」

「受付で、保護者ありの方（概ね中高生以下）などに対応する場合」

なんやこの基準？とお思いの方もおられるでしょう。私が勝手に考えた「うなて医院敬語基準」です。

多くの医療機関では（少なくとも私の経験談です、一般論ではありません）、スタッフが患者さんに対して「タメ口」で話すことがあります。

しかし、うなて医院では「うなて医院敬語基準」に則り、原則敬語です。

「もっと気さくに接してほしい」「なんかよそよそしいで～」と感じられる方もおられると思いますが、ご理解の程よろしくお願い致します。

※4 白衣を着ません

うなて医院のユニフォームは、まずは「ポロシャツ」です。

白衣を見ると怖がってしまう子どももいるからです。

「ラフ過ぎるかなあ…」「スクラブが無難かなあ…」と迷うこともありましたが、やっぱりポロシャツで始めてみます。

清潔保持という観点からも毎日着替えるポロシャツ診療が良いかなと思いました。

ご理解の程よろしくお願い致します。

（今後、ワイシャツなどに変更する可能性はあるかもしれませんが・・・）

※5 喫煙者のご応募はご遠慮下さい

当医院ホームページなどでスタッフ求人募集時に記載させていただきますが、喫煙される方のご応募はご遠慮いただきますようお願い致します。

小児科専門医として子どもの健康を守る立場にあり、うなて医院は子どもの健康を優先に考えているからです。

子どもにとってタバコ（喫煙、受動喫煙、三次喫煙全てを含む）は百害あって一利なしと思われれます。ご理解の程よろしくお願い致します。



2019年（令和元年）6月1日